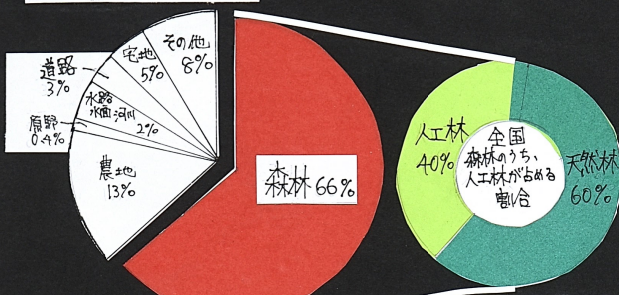


森林環境税で森を守る

現在の日本と山梨の 森林の現状

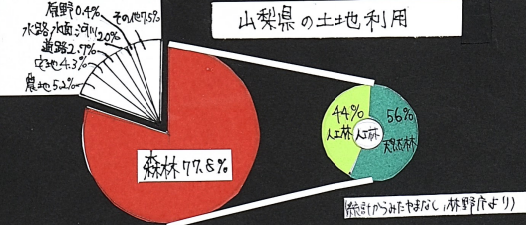
～大事な税金はどう使われる?～

日本の土地利用(全国)



(総務省統計局、林野庁より)

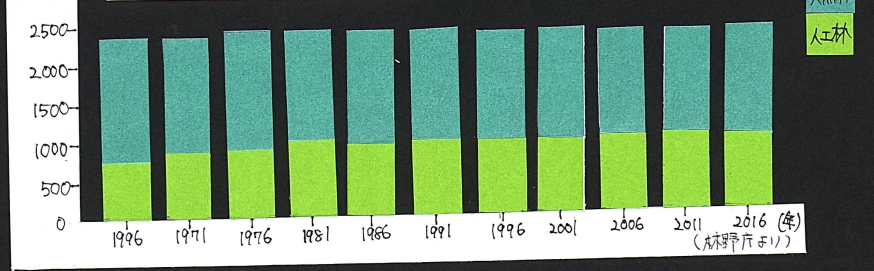
山梨県の土地利用



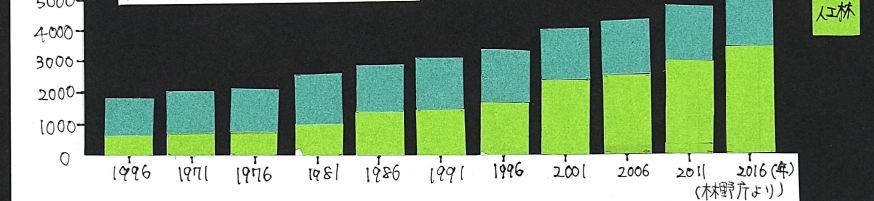
(統計から作成、林野庁より)

日本は森林率が高いと分かった。森林の中には人工林と天然林がある。山梨県のみで土地利用を調べると、全国より森林率が高いと分かった。

森林面積の推移(百万㎡)

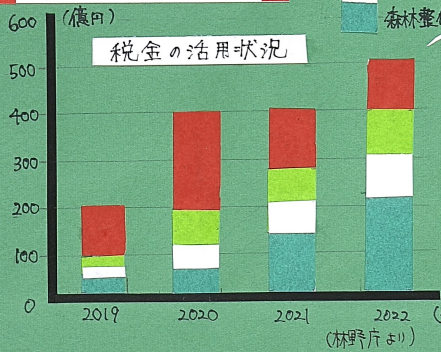


森林蓄積の推移(百万㎡)

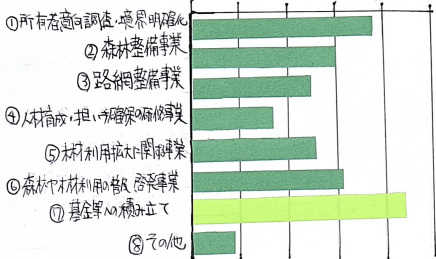


日本の森林面積は、ほとんど変化がないが、森林蓄積は増えており、特に人工林で増え続けている。これは、人工林の整備が行き届いていないことを表している。

森林環境税の活用現状 と地域別配布額



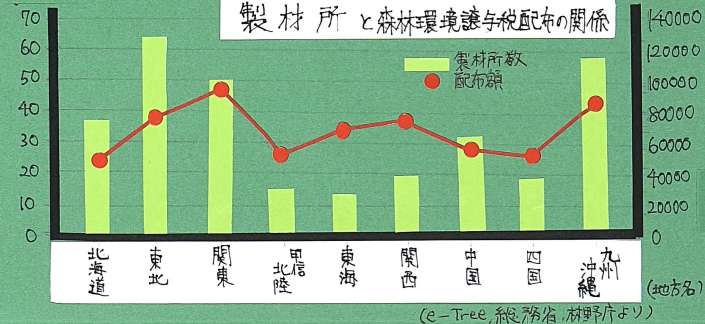
森林環境税と税を用いた取組(市町村数)



(事業指針第2版)

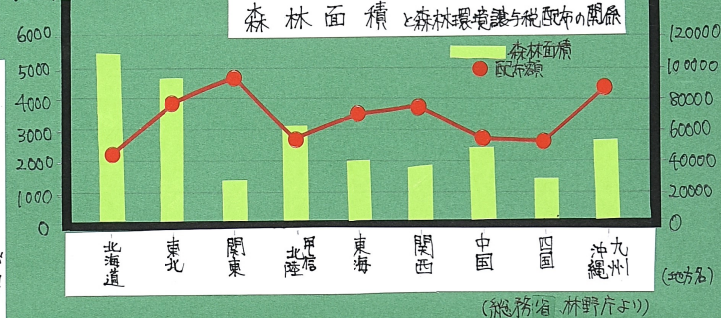
配布される税金の金額と活用される金額は毎年増えている。森林環境税は林業従事者数・森林面積、人口の3つの視点で配布される金額が決まる。そのため、森林面積は多いが人口が少ない東北地方よりも森林面積は少ないが人口が多い関東地方の方が、配布額が多くになっている。その対策として、一部の県では森林環境税とは別に県税を導入している。

(事業所数)



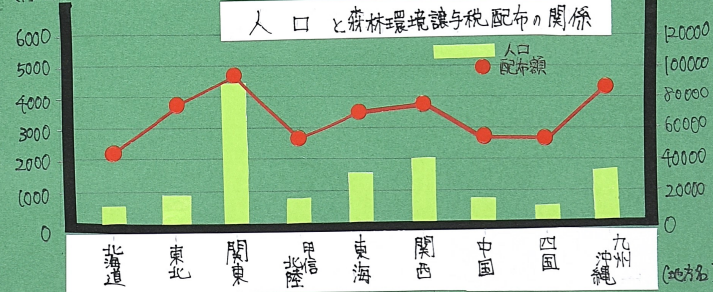
(e-Tree, 総務省、林野庁より)

(千ha)



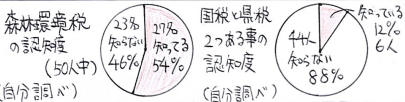
(総務省、林野庁より)

(万人)

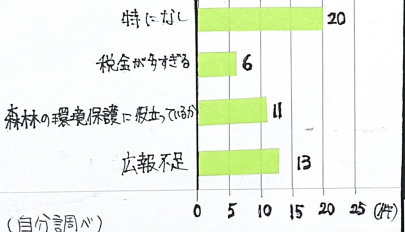


(総務省、林野庁より)

50人に聞いた森林環境税アンケート

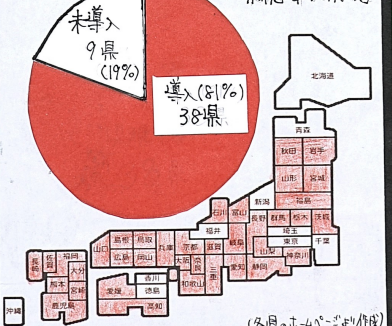


森林環境税についての意見



(自分言同%)

県税導入状況



(各県のホームページより作成)

森林環境税は導入されたばかりで、どの都道府県も上手な活用法が分からず手探りの現状がある。自分は、森林蓄積が増えることが森林環境が悪化するとデフレを見て考えたので、森林環境税と人材育成や関係など、有効に活用し新しい税金をより豊かな森林にするために使うことが大事だと思った。